訓

埼 玉 県 教育 委員 会訓 令第六号

埼 玉 県教 育 局

県 <u>\(\frac{1}{2} \)</u> 教 育 機 関

局 等 \mathcal{O} 職 員 \mathcal{O} 勤 務 時 間 関 す る 規 程 \mathcal{O} _ 部 を改 正 す る 訓令を 次 \mathcal{O} ょ う 定 8

和 七 年 月 +兀 日

る

玉 一県教 育委員会教育 長 日 吉 亨

教育 局 等 \mathcal{O} 職 員 \mathcal{O} 勤 務 時 間 に 埼 関 す る 規 程 \mathcal{O} 部 を 改 正 す る 訓 令

教 育 員 \mathcal{O} 勤 務 時 間 に 関 す る 規 程 昭 和 兀 +年 埼 玉 県教育委員 会訓 令

号) \mathcal{O} 次 \mathcal{O} うに 改 正 す る。

第 条第 項 中 第二条第五 項」 を 「第二条第 八 項 に 改 \Diamond る

第二条中 第 五. 項 を 第 八 八項とし 第二項 から 第 匹 項 くまで を三項ず 0 繰 り 下 げ 第

項 0 次 に 次 の三項を 加え る

2 号 間 \mathcal{O} 勤務時 \mathcal{O} す 週休 勤務 属長 間 は 日 間 を \mathcal{O} 割 ほ は 前 \mathcal{O} 割 か 項 1) 振 に当 条例 振 \mathcal{O} 規定 り、 ることが 該 第三条第三項 職員 週休 0) 適用を受け で \mathcal{O} 日 きる 及 勤 務 び 時 0 休 規定 憩時 る 間 職 を 割 間 \mathcal{O} 員 12 例 り \mathcal{O} 振 12 0 週 5 ょ 11 間ご り、 な て 11 職 次 と 日 を設 員 \mathcal{O} \mathcal{O} 各 \mathcal{O} 期 申 号 け 間 告 \mathcal{O} に を経 又 VI お は ず け 当該 れ る て、 に 勤 職員 第 Ł 務 時

間 0 7 日 0 き七 時 間 兀 + 五. 分 で あ る こと。

勤務 時 間 \mathcal{O} 割 振り 0 7 第 条第 項 に 規定 す る 勤務時 間 で あ ること。

三 週休 日 2 て、 日 曜 日 及 び 土曜 日で あ ること。

兀 休 憩 時 に 0 VI て 第 条 第 項 に 規 定する休 憩 時 間 で あ る °حات

で \mathcal{O} きる。 所属長 規 定の は 例 前 ょ り 項 に規 当 該 定 職 す Ź 員 場 \mathcal{O} 合 休 憩 12 時 お 間 11 を て 午 第 後 零時 _ 条第三 カゝ 5 項 兀 又は +五. 分 第 間 一条 とす \mathcal{O} 二第 ること 兀 項

4 所属長 は 項 E 規 定 す る 場 合 に お い て、 条 第 五. 項 又 は 第 条 \mathcal{O} 五.

項 \mathcal{O} 規定 \mathcal{O} 例 に ょ ŋ 当 該職 員 \mathcal{O} 休 憩 時 間 \mathcal{O} 始 時 刻 を 変 更す ること が できる。

則第四 |項及び 第五 項 中 第 _ 条」 \mathcal{O} 下 及 び 別 表 を 加え る

附 則 第 七 項 及 び 第 八 項 中 休 憩 時 間 に 係 る 部 分 限 る を 削

る。

則

 \mathcal{O} 令 は 令 和 七 年 +二月 __ 日 か 5 施行 する